

# 警察官（I類）教養試験問題

平成23年1月16日（日）実施

**※ 指示があるまで開いてはいけません。**

**【注意事項】**

- 1 問題は全部で**50題、26ページ**です。**2時間**で解答してください。
- 2 乱丁、落丁があれば、申し出てください。
- 3 解答用紙の記入方法は次のとおりです。
  - (1) 組・教室番号、試験区分、受験番号はあらかじめ記入・マークされていますので、誤りがないか確認してください。
  - (2) 受付番号を正しく記入し、該当する番号の○をHBの鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。

**【例】** 3組、試験区分男性警察官I類、受験番号123番、受付番号654番の受験者は、下記ようになります。

	0	0	3
	番号		
組 ・ 教室 番号	●●○		
	①①①		
	②②②		
	③③●		
	④④④		
	⑤⑤⑤		
	⑥⑥⑥		
	⑦⑦⑦		
	⑧⑧⑧		
	⑨⑨⑨		

	試験区分	
警 男 性 官	I類	●
	II類	○
	III類	○
警 女 性 官	I類	○
	II類	○
	III類	○

	0	0	1	2	3
	受験番号				
	●●○①①				
	①①●①①				
	②②②●②				
	③③③③●				
	④④④④④				
	⑤⑤⑤⑤⑤				
	⑥⑥⑥⑥⑥				
	⑦⑦⑦⑦⑦				
	⑧⑧⑧⑧⑧				
	⑨⑨⑨⑨⑨				

	0	0	6	5	4
	受付番号				
	●●○①①				
	①①①①①				
	②②②②②				
	③③③③③				
	④④④④●				
	⑤⑤⑤●⑤				
	⑥⑥●⑥⑥				
	⑦⑦⑦⑦⑦				
	⑧⑧⑧⑧⑧				
	⑨⑨⑨⑨⑨				

- (3) 教養試験解答欄は、各問題の解答番号1から5のうち正しいと思う解答番号の○をHBの鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。
  - (4) 各問題とも正解は一つですから、二つ以上塗ると誤りになります。
  - (5) 一旦記入してから書き直す場合は、消しゴムできれいに消してください。  
 ※ 砂消しゴムは絶対に使わないでください。
  - (6) 解答用紙にある注意事項をよく確認してください。
- 4 問題の計算などでメモをしたい場合は、問題用紙の余白を使ってください。
  - 5 試験時間中に問題集を切り取る、計算機を使用する、携帯電話を操作するなどの行為は、一切禁止します。
  - 6 試験終了後、この問題集は持ち帰ることができます。

～ 本試験問題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

[No. 1] わが国の地方自治に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 明治憲法においても地方自治に関する規定は置かれていたが、中央集権的性格が強い国家体制だったため、地方自治の原則はほとんど形骸化していた。
- (2) 地方公共団体の議会は、住民の代表機関であり、議決機関である点で、国会と同じ性質を有するため、憲法上その議員の発言につき免責特権が認められる。
- (3) 「地方自治の本旨」の一つである住民自治の内容として、地方公共団体の長、議会の議員の住民による直接選挙および住民の直接請求権を憲法は明記している。
- (4) 地方公共団体は普通地方公共団体と特別地方公共団体の二つに分けられ、そのうち普通地方公共団体には都道府県と市町村が含まれることを憲法は明記している。
- (5) 地方自治法は、首長制を基本としているが、アメリカ型の大統領制にみられない議院内閣制の要素を加味して、わが国独自の二元的代表制をとっている。

[No. 2] わが国の憲法第14条の定める法の下での平等に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 大学入学や雇用等につき、一定の社会的弱者に優先枠を設ける積極的な差別是正措置は、合理的な平等を実現するものとして、いかなる場合も許される。
- (2) 特定の職業に従事する者に対して業務上特別の注意義務を課することは、職業による差別にあたることから、法の下での平等に反する。
- (3) 地域による区別は許されないため、ある行為について条例で取り締まった自治体とそうしなかった自治体がある場合、その地域的差異は法の下での平等に反する。
- (4) 非嫡出子の法定相続分を嫡出子の2分の1とする民法の規定は、判例で、合理的な理由のない差別とはいえず、法の下での平等に反しないとされている。
- (5) 特定の者に栄典を授与することは、栄典自体が広い意味で一種の特権であるから、法の下での平等に反する。

[No. 3] 核軍縮に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) アメリカ・ソ連・イギリスは1968年に、核兵器の保有を当時の米ソ中英仏5カ国に限って認め、非核保有国の原子力平和利用は国際原子力機関（IAEA）の査察を認めることを条件に、核保有国が技術協力をするなどなどを要点とする、核兵器不拡散条約（NPT）に調印した。
- (2) 1970年代に入ると、米ソ両国は戦略兵器制限交渉（SALT）を進め、相手の核ミサイルを空中で迎撃するミサイルの配備を進めるために、対弾道弾ミサイル（ABM）制限協定を結んだ。
- (3) 1980年代には、再度米ソ緊張がたかまり、両国はヨーロッパに中距離核戦力（INF）の配備を進めたが、アメリカが、相手の核ミサイルを空中で撃墜することをめざした戦略防衛構想（SDI）を打ち出したことで、核抑止の体制がますます堅固なものになった。
- (4) 米ソ両国は、1987年に中距離核戦力全廃条約締結をめざしたものの実現できず、結局、冷戦終結後に戦略兵器削減条約（START）が米口間で結ばれるまで、核軍縮を実現できなかった。
- (5) 冷戦後も、核兵器保有が国家の威信を高めるという考え方や、核抑止を重視する考え方が根強く残っている。このような傾向を抑制するため、全般的な核実験停止を目指す包括的核実験禁止条約（CTBT）が1996年に国連総会で採択され、全核保有国の参加により発効した。

[No. 4] わが国の政党政治に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 政党政治は明治憲法の下では発展することができず、衆議院の多数党が政権を担うという「憲政の常道」は、日本国憲法下ではじめて定着した。
- (2) 自由民主党（自民党）と日本社会党（社会党）を中心とした55年体制は二大政党制の期待をもって出発し、ときには政権交代が起こるなど戦後政治に大きな役割を果たした。
- (3) 1960年代以降、自民党と社会党に飽き足らない中道政党（民社党や公明党、新自由クラブなど）も誕生し、特に与党の多党化が進展した。
- (4) 官庁と派閥の間に立って利益調整を行う族議員は、あらゆる分野に精通していたため、政界内の政策決定に大きな影響力を持っていた。
- (5) 1993年、政治改革問題で自民党が分裂すると、非自民連立政権として細川政権が成立し、政党政治は、一党優位制から多党制、単独政権から連立政権へとその姿を変えていった。

- [No. 5] サブプライムローン問題やリーマン・ブラザーズ破綻以降の世界経済に関する記述として、最も妥当なものはどれか。
- (1) 世界経済は回復の兆しを見せず、とりわけ中国、韓国、台湾などのアジア諸国の成長は著しく低下しており、2010年第1四半期における実質経済成長率はマイナスとなった。
  - (2) 欧米では失業率が依然として高水準で推移しており、2010年4月の失業率はユーロ圏、アメリカいずれも約10%まで達している。
  - (3) アメリカでは世界金融危機発生後、様々な金融システム安定化策がとられてきており、2010年以降も最大3,000億ドルの国債買取りなどの政策が積極的に行われている。
  - (4) 欧米諸国における金融政策については、史上最低水準の政策金利から一転して、2010年4月にはリーマン・ブラザーズ破綻以前の水準まで引き上げられている。
  - (5) 2009年半ば以降、アメリカの貿易赤字額は縮小し、アメリカを中心とする国際資金の流れが復活する兆候も見られている。

- [No. 6] 市場の失敗に関する記述として、最も妥当なものはどれか。
- (1) 価格の自動調整機能が損なわれることを市場の失敗といい、市場の失敗を補うため、財政政策や独占禁止政策などの経済規制による政府の介入が必要である。
  - (2) 不公正な取引や市場の独占を防ぐために、わが国では、昭和22年に独占禁止法が制定され、この法律にもとづいて消費者生活センターが設置された。
  - (3) 電気・ガス・水道などのように大きな装置を必要とする分野は、規模の利益のために自然独占になりやすく、供給量が過大となってしまうために規制が必要になる。
  - (4) お金を投じなくても財・サービスを享受できる外部経済のケースでは市場にまかせることで最適な量が供給されるが、対価を受け取ることなく不利益をこうむる外部不経済のケースでは、市場にまかせると供給量は過大となる。
  - (5) 外部経済をもたらす公共財は、公共財を買うのにお金は必要なく、すべての人に供給される非競争性という特徴、および多くの人に等量消費が可能となる非排除性という特徴を持つ。

[No. 7] 平成22年9月のペイオフ発動に関するア～エの記述のうち、正しいものの組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

ア ペイオフは預金保険法ができた昭和46年に導入された制度であるが、平成17年の全面解禁以降、今回の適用が初の発動であった。

イ ペイオフとは、銀行が破たんした場合に預金者1人当たりにつき預金の元本1000万円までを保護する制度であり、利息分までは保護の対象とされていない。

ウ 破綻した銀行は、平成16年に中小企業向け融資専門の銀行として開業したが、景気低迷等の影響で経営難に陥り、平成22年6月時点で債務超過額は1870億円に達していた。

エ 破綻した銀行が扱っていた預金は法人向けの定期預金だけであり、大口の預金者の割合が高く、預金の元本が1000万円を超える預金者が大半を占めていた。

- (1) ア、イ
- (2) ア、ウ
- (3) ア、エ
- (4) イ、ウ
- (5) ウ、エ

[No. 8] 環境問題に関するア～エの記述のうち、正しいものの組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

ア 温室効果ガスとは、大気を構成する気体であって、なおかつ、紫外線を吸収し再放出する気体のことをいい、京都議定書では、二酸化炭素とメタンの2物質を、温室効果ガスとして削減対象としている。

イ 環境影響評価とは、環境に大きな影響を及ぼすおそれがある事業について、事業実施後に環境への影響を調査、評価することで、その事業について適正な環境配慮を求めることをいう。

ウ クリーン開発メカニズムとは、京都議定書の温室効果ガス削減約束を達成するに当たり、先進国が途上国において植林事業等を行った結果生じた削減量・吸収量を、事業に貢献した先進国が獲得できる制度をいう。

エ 国外や国内の他地域から人為的に導入され、本来の分布域を越えて生息又は生育する生物種を外来種というが、そのうち、導入先の生態系に著しい影響を与える種を侵略的な外来種という。

- (1) ア、イ
- (2) ア、ウ
- (3) イ、ウ
- (4) イ、エ
- (5) ウ、エ

[No. 9] 次の文はわが国の観光行政に関する記述であるが、文中の空所（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

観光立国の実現に向けて、機能的かつ効果的な業務の遂行を可能とする体制を整備するとともに、観光行政の責任を有する組織を明確化するため、平成20年10月1日に（ア）の外局として観光庁が発足した。さらに、平成21年12月には（イ）を本部長とする観光立国推進本部が立ち上げられた。同本部の下には、外客誘致ワーキングチーム、観光連携コンソーシアム、（ウ）の3つのワーキングチームが設置された。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	内閣府	地域主権推進担当大臣	観光地域づくりプラットフォーム
(2)	国土交通省	観光庁長官	観光地域づくりプラットフォーム
(3)	内閣府	経済財政政策担当大臣	休暇分散化ワーキングチーム
(4)	国土交通省	国土交通大臣	休暇分散化ワーキングチーム
(5)	内閣府	内閣総理大臣	休暇分散化ワーキングチーム

[No.10] 建武の新政に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 後嵯峨上皇の死後、皇室は持明院統と大覚寺統に分かれて皇位継承をめぐる争いを起こしたため、幕府は調停をおこない持明院統に正当な皇位継承権があるとした。
- (2) 大覚寺統から即位した後醍醐天皇は一般政務を行う記録所を再興して、天皇親政を強力におしすすめた。
- (3) 執権北条高時が死去すると、内管領の長崎高資は自ら執権の職につき政治を主導したため、御家人の反発が強まり、その情勢を見て後醍醐天皇は討幕の計画をすすめた。
- (4) 土地関係の訴訟を処理するため、後醍醐天皇は幕府の評定衆を継いだ引付衆を設置し、各国には国司と守護をおいて統治した。
- (5) 後醍醐天皇は天皇中心の専制政治を行ったが、倒幕に協力した武士に対しては武士社会の慣習を認めた。

[No.11] 平安時代から江戸時代にかけての日本の貿易に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 平清盛は摂津国の大輪田泊を修築して瀬戸内海航路の安全をはかり、宋商人の畿内への招来につとめた。
- (2) 足利義満は明との国交を開き貿易を開始したが、明は朝貢形式をとっていたため、滞在費・運搬費などは全て日本側が受け持った。
- (3) ポルトガル人やスペイン人を南蛮人とよんだことから、彼らとの貿易を南蛮貿易とよび日本は生糸や絹織物などを輸出し、銀と交換した。
- (4) 織田信長は西国大名や豪商に朱印状を与えて、ルソン・カンボジアなどの東南アジア諸国と貿易を行わせた。
- (5) 徳川家康は豊後に漂着したオランダ船リーフデ号の水先案内人ウィリアム＝アダムズと航海士ヤン＝ヨーステンを外交顧問とし、出島で貿易を始めた。

[No.1 2] 百年戦争に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) フランスは毛織物生産の中心地であるシャンパーニュを支配下におこうとしたが、この地に羊毛を輸出して利益をあげていたイギリスは、フランスが勢力を伸ばすのを阻止しようとした。
- (2) フランスでカペー朝の直系が絶えると、イギリス国王エドワード3世は母がカペー家出身であることからフランスの王位継承権を主張し、これをきっかけに百年戦争が始まった。
- (3) 百年戦争の結果、フランス国内の領土を失ったイギリスでは王位継承をめぐるランカスター家とヨーク家の間で三十年戦争とよばれる内乱が起こり、有力な諸侯が次々と没落した。
- (4) フランス国内は黒死病の流行やジャクリーの乱などで荒廃し、ヘンリ7世が即位したとき、ヴァロワ朝の勢力は急速に衰えた。
- (5) 百年戦争はフランスの勝利に終わったが、フランスでは、混乱に乗じて諸侯や騎士が力を持つようになり、王家の中央集権体制が崩壊していった。

[No.1 3] 清に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 清では人口増加による耕地不足などがきっかけとなって、1796年に白蓮教徒の乱が起こり、10年近く続いたこの反乱は清朝の国家財政を窮乏させた。
- (2) イギリスは、マカートニーを清に派遣してアヘン輸入の拡大を要求したが拒否されたため、武力に訴え、1840年にアヘン戦争を起こした。
- (3) アヘン戦争に敗れた清は、1842年、北京条約で香港島の割譲、広州などの5港の開港を認め、その後領事裁判権、最恵国待遇などを認めるとともに関税自主権を喪失した。
- (4) ロシアは東シベリア総督ムラヴィヨフのもとで清への圧力を強化し、1858年に南京条約を結んで黒竜江以北を領有した。
- (5) キリストの影響を受けた洪秀全は上帝会という宗教結社を組織すると、1851年に広西省で挙兵して太平天国を樹立、「扶清滅洋」をかかげて外国勢力の打倒をめざした。

[No.1 4] わが国の世界遺産に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 最初に登録されたのは平成5年の広島県の厳島神社であり、翌年、同県の大塚原爆ドームが登録された。
- (2) 自然遺産に登録されているのは、知床、白神山地、紀伊山地の霊場と参詣道、屋久島の4カ所である。
- (3) 平成22年9月の時点で登録されているのは文化遺産と自然遺産を合わせて14カ所あり、最も新しく登録されたのは、石見銀山遺跡とその文化的景観である。
- (4) 複数の府県にまたがっているのは、古都京都の文化財、白川郷・五箇山の合掌造り集落の2カ所である。
- (5) 関東地方には、栃木県にある日光の社寺と、神奈川県にある古都鎌倉の寺院・神社の2カ所の文化遺産がある。

[No.15] 東南アジア諸国に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 人口は、フィリピン共和国が約2億3千万人で最も多い。
- (2) 国土面積は、ベトナム社会主義共和国が最も広く、日本のおよそ2倍である。
- (3) 宗教は、タイ王国とミャンマー連邦を除く全ての国で、イスラム教徒が大多数を占めている。
- (4) シンガポール共和国は第三次産業の人口比率が高く、70%を超えている。
- (5) 東ティモール民主共和国は、20世紀の終わりに独立を果たした最も新しい国である。

[No.16] 中国の諸子百家の思想に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 儒家の祖である孔子は、人間にはもともと四端が備わっているため、生まれつき善であると説き、仁と義に基づいた政治である王道政治の思想を展開した。
- (2) 孟子の思想の中核をなすものに仁と礼があるが、孟子は性悪説の立場から特に礼を重視し、礼治の思想を展開した。
- (3) 老子は、道徳や文化などは人間が作為した相対的なものであると考え、無為自然の状態への復帰と小国寡民の理想社会を説いた。
- (4) 墨子は、万物斉同という考えから、人間の知識の範囲は限られており、真偽是非の判断も相対的でしかないとして、差別のない全的、超越的な道を説いた。
- (5) 韓非子は、自己と他人とを区別せず平等に愛するという兼愛の思想を展開し、非攻を説いて侵略戦争を否定した。



[No.17] 近代の日本文学に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 坪内逍遙は『小説神髓』を書き、文学を倫理的に規制する勸善懲悪の文学観を排して文学の独自性を掲げ、世態人情の写実に小説の本質を求めた。『当世書生気質』は、『小説神髓』の理論を具体化したもので、新時代の活況を写實的に描いた作品である。
- (2) ロシア文学の知識を基に「模写」の必要性を説いた二葉亭四迷は、小説『浮雲』で初めて近代的人間像を文学に定着させた。また『金色夜叉』では、苦心の言文一致体で、近代知識人の苦悩を行き届いた心理描写によって描き、高い評価をえた。
- (3) 『にごりえ』、『たけくらべ』と質の高い作品を矢継早に発表したあと、その短い生涯を閉じた与謝野晶子は、明治女流文学者中随一の名作を残したことで知られる。文体は雅俗折衷体の美文だが、いずれも特色ある短編小説である。
- (4) 浪漫主義の詩人として出発した島崎藤村は『破戒』で小説に転じた。社会性の豊かなこの作品を書いたあと、社会よりも自己の内面に着目した自伝的傾向の強い『蒲団』、『田舎教師』などを発表して自然主義の代表的作家となった。
- (5) 深く広い学識と強い倫理観で自然主義と対立したのは、森鷗外と夏目漱石であった。夏目漱石は、『吾輩は猫である』のあと、大学教師から作家へ轉身し、『三四郎』、『こころ』、『高瀬舟』などの作品で、一貫して近代人の自我と孤独の問題を追求した。

[No.18] 次の熟語の組み合わせのうち、意味が最も近いものはどれか。

- (1) 老婆心 — 疑心暗鬼
- (2) 不退転 — 不撓不屈
- (3) 門外漢 — 門外不出
- (4) 破天荒 — 波乱万丈
- (5) 有頂天 — 天衣無縫

[No.19] 次の数量の呼称と品名の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

- (1) 一脚 (いっきやく) — 扇子
- (2) 一挺 (いっしょう) — たんす
- (3) 一棹 (ひとさお) — 羊羹
- (4) 一句 (いっく) — 短歌
- (5) 一町 (いっしょう) — 豆腐

- [No.20] 地上に立って、手で小さなボールを初速 $v_0$ で鉛直上向きに投げ上げる。ボールが最高点に達するまでの時間をA、最高点の高さをB、最高点の半分の高さに達する瞬間のボールの速さをCとしたときのA、B、Cの組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。
- ただし、重力加速度の大きさを $g$ とし、空気抵抗は考えず、投げ上げる手からボールが離れた高さを高さゼロとする。

	A	B	C
(1)	$\frac{v_0}{2g}$	$\frac{v_0^2}{2g}$	$\frac{v_0}{\sqrt{3}}$
(2)	$\frac{v_0}{g}$	$\frac{v_0^2}{2g}$	$\frac{v_0}{\sqrt{2}}$
(3)	$\frac{v_0}{g}$	$\frac{v_0^2}{g}$	$\frac{v_0}{\sqrt{5}}$
(4)	$\frac{2v_0}{g}$	$\frac{v_0^2}{g}$	$\frac{v_0}{2}$
(5)	$\frac{2v_0}{g}$	$\frac{2v_0^2}{g}$	$\frac{v_0}{3}$

- [No.21] 有機化合物に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) メチル基にアミノ基が結びつくとメタノールができる。
- (2) ベンゼンに濃硫酸を加えて熱するとニトロベンゼンが生じる。
- (3) ベンゼンの水素原子1個をメチル基で置換した化合物をトルエンという。
- (4) 炭化水素のうち、分子が鎖状構造で、炭素原子間がすべて単結合のものをアルケンという。
- (5) カルボン酸とアルコールの縮合でエーテルが生じる。

- [No.22] 脊ついで動物の発生における胚葉（外胚葉、中胚葉、内胚葉）と、各胚葉から形成される組織・器官の例（A～C）との組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

- A 脳、脊髄  
 B 腎臓、心臓  
 C 肺、すい臓

	外胚葉	中胚葉	内胚葉
(1)	A	B	C
(2)	A	C	B
(3)	B	A	C
(4)	B	C	A
(5)	C	A	B

[No. 2 3] 次の文は地球内部のエネルギーに関する記述であるが、文中の空所（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組み合わせとして、最も妥当なものはどれか。

地球内部から地表に向かって流れる熱量を（ア）といい、地球内部の熱的状态やプレート理論の研究において重要な観測値である。（ア）は岩石の熱伝導率と地下増温率の積で求められる。（ア）は、一般に海洋地域においては、（イ）では大きく、（ウ）では小さい。

- |     | (ア)     | (イ)  | (ウ)  |
|-----|---------|------|------|
| (1) | 地温勾配量   | 海溝   | 中央海嶺 |
| (2) | 地殻熱流量   | 中央海嶺 | 海溝   |
| (3) | マントル対流量 | 海溝   | 中央海嶺 |
| (4) | 地温勾配量   | 中央海嶺 | 海溝   |
| (5) | 地殻熱流量   | 海溝   | 中央海嶺 |

[No. 2 4] 次の英文の空所に、(a)～(e)を正しく当てはめて、英文を完成させるとき、(A)に当てはまる語句として、最も妥当なものはどれか。

It is obvious that ( ) there is only one candidate for president ( ) only one dish ( ) the menu, a wide range of people will ( ) the (A) choice.

(a) same (b) make (c) on (d) if (e) or

- (1) (a)
- (2) (b)
- (3) (c)
- (4) (d)
- (5) (e)

[No. 2 5] 下線部が文法的に正しく用いられているものとして、最も妥当なものはどれか。

- (1) The company apologized of not meeting minimum standards required by law.
- (2) We seriously discussed about the practical solution of global warming problems.
- (3) He tried hard to live up in his teacher's expectation.
- (4) Thank you very much for inviting me to the party.
- (5) See on it that you don't make a mistake again.

[No. 26] 次の英文の内容に一致するものとして、最も妥当なものはどれか。

The public also has a stake in the networks. Whatever its failings, a mass medium creates a sense of community. Americans grow up believing diversity is good and bigness is bad, which is often true. But it is also true that the public has an investment in a common communications system, in the larger public purpose a network can perform when it brings a disparate population together to share an experience. Often this potential is unrealized. But it was fulfilled when the networks became the nation's common church after John F. Kennedy and Martin Luther King, Jr., were assassinated; when nearly three quarters of all viewers tuned to the miniseries *Roots*; and when the new owners sacrificed ad revenues to offer live coverage during the first week of the 1991 war with Iraq. Ev Dennis, executive director of the Gannett Center for Media Studies at Columbia University, observed: "We have shared values that are enhanced by three networks. For the same reason we don't favor five hundred languages in the country. It does create a national consensus of values and of what we think is important. We could be like Italy, where the newspapers are weak," TV is dispersed, and there is no national consensus. The stability of the American government and society, he said, owed something to the networks.

It is also true, however, that the variety of choices now available to the TV viewer enhances the diversity of the culture. For nearly two decades the federal government has sought to deregulate television in order to encourage a greater range of choices; yet at the same time, government has long proclaimed the public's right to free television. The two goals sometimes war. As is often true in a democracy, individual freedom may not mean equal access. Freedom of choice may belong only to those who can afford to pay for the opportunity. If there were no networks, how many citizens could afford—or have access to—cable or pay TV?

[語義] stake 利害関係 / disparate バラバラな / assassinate 暗殺する /  
miniseries *Roots* 連続ドラマ「ルーツ」 / revenue 収入 / coverage 報道 /  
enhance 高める / deregulate 規制緩和する / proclaim 宣言する /

- (1) ジョン・F・ケネディとマーティン・ルーサー・キングが暗殺される以前には、真の意味での国民的コンセンサスは存在しなかった。
- (2) 規制緩和の推進は、時にネットワークにより支えられる社会の安定性と対立する。
- (3) アメリカ人は多様性を良しとし、大きいことは悪いことと信じて育ってきたため、イタリアのようなネットワークを構築すべきだと考えている。
- (4) どんな欠点があろうと、マスメディアは国民の間に一種の共同体感覚を生み出す。
- (5) 貧富の差や大事件における報道の自由の確保という観点からすれば、やはり国営ネットワークも必要である。

[No. 27] 次の英文の内容と一致するものとして、最も妥当なものはどれか。

Surprisingly, Wikipedia is even good at things you wouldn't associate with a traditional encyclopedia—reporting and analyzing news events such as the Virginia Tech massacre and Hurricane Katrina. Wales explains:

One of the things that we are doing better, I think, is when we have a mass public event or story with breaking news, one of the things that we've seen is that, in the short run, especially, Wikipedia does a very interesting thing that I have come to appreciate more and more over time, which is a census of the news that's coming out. So, the way I present this is when you have a big event like this, you'll have ten, twenty, or thirty, or fifty reporters all there, on the scene gathering information. But they're each seeing only the piece that they can see and even if they're all absolutely excellent journalists who are doing their very best to get the whole story, they're each coming from a particular perspective and they're each interviewing particular people with particular views. And then that stuff goes out onto the Web where people can read all of it.

The *New York Times* made the same point after the Virginia Tech massacre. As a review article noted, "From the contributions of 2,074 editors, at last count, the site created a polished, detailed article on the massacre, with more than 140 separate footnotes, as well as sidebars that profiled the shooter, Seung-Hui Cho, and gave a timeline of the attacks." That article was viewed by more than 750,000 within the first two days. Even the local newspaper, the *Roanoke Times*, commented that Wikipedia "has emerged as the clearinghouse for detailed information on the event."

I've called Wikipedia part of the "sharing economy" even though technically the license governing Wikipedia permits anyone to copy Wikipedia for whatever purpose he or she wants, including the purpose of selling copies. There's nothing wrong, according to the license at least, with running an ad-supported site with a copy of Wikipedia. There's no problem in printing a physical copy of the hundred most popular articles and selling those copies for money. The only licensing restriction is that if you make changes to Wikipedia, you have to license the new version under the same license as the old. No one is permitted to improve and then lock up the improvements. They too must remain free.

[語義] encyclopedia 百科事典 / massacre 大虐殺 / breaking news 急報 /  
appreciate 感謝する / census 調査 / perspective 視点 / footnote 脚注 /  
emerge 台頭する / clearinghouse 情報センター

- (1) 世の中の人々が興味を持つであろう事件について、短期的に特集記事を組めるという点で、ウィキペディアには感心させられる。
- (2) ウィキペディアの語源は、『世界の人々の手による百科事典』である。
- (3) ウィキペディアを司るライセンスでは、だれでも好きな目的のためにウィキペディアを複製し、売って儲けてもかまわないとされている。
- (4) ウィキペディアを複製して売るには、自分で何らかの改善を加えてからでなければならない。
- (5) たとえばニューヨーク・タイムズは、ウィキペディア上でヴァージニア工科大銃乱射事件について140もの脚注がつけられたことについて、その情報源の不正確さを攻撃した。

[No.2 8] 次の文章の空所  に当てはまる内容として、最も妥当なものはどれか。

自己言及とは、自分で自分の真偽や存在の有無について語ることをいい、「クレタ人は嘘つきだ、とクレタ人が言った」というのが好例である。もし、クレタ人の言ったこと（クレタ人は嘘つきだ）が本当だとすると、嘘つきが真実を語ったことになって、矛盾だ。もし、クレタ人の言ったことが嘘だとすると、「嘘つきだというのが嘘」（つまり本当は正直者）ということになり、やはり矛盾する。

すると、「宇宙はぼくの幻想である」というのは、「この宇宙にいるぼくは、宇宙は存在しない、と考えている」というのと同じである。さらに言うと、ぼく自身はこの宇宙の一員なのだから、「宇宙は存在しない、と宇宙の一員が考えている」、つまり、「宇宙は存在しない、と宇宙が考えている」ということさえできるのだ。畢竟、「自分は存在しない、と考える」と。

この章の初めに「我思う、ゆえに我あり」と書いた。しかし、この章の後段にきて、「我思う、我なし」とこじつけるにいたった。この自己言及のこじつけは、この宇宙を内部から見ていることに起因する。宇宙の内部者が、宇宙について言及することが自己言及なのだ。もちろん、ぼくたちはこの宇宙から出られない（と思いこんでいる）ので、科学がいくら進歩しても、永遠に自己言及のままである可能性が高い。

ところが、せっかく  と考えたのなら、もっと羽目をはずして、脳内の仮想空間に宇宙を浮かべてみてもよいだろう。つまり、この宇宙の外に出て、この宇宙を外から眺めるのだ。しかも、ひとつではない、「この宇宙」の他にもたくさんの宇宙が浮いているような光景だ。

実は「宇宙はたくさんある」というアイデアはすでに物理学者の間で有名である。まず、この宇宙には親宇宙があって、その始まりは「トンネル効果」によって非存在側から存在側にぼろっと転がりてたようなものだ。そして、親宇宙の超急激膨張（インフレーション）が「真空の相転移」あるいはビッグバン（大爆発）を起こし、「この宇宙」が生まれたのだが、それは一回きりでなかったというのだ。つまり、他にもたくさんの「子宇宙」あるいは兄弟姉妹の宇宙があるということだ。そして、たくさんの孫宇宙も。

- (1) 「宇宙は存在しない、と宇宙が考えている」
- (2) 「宇宙はぼくの幻想である」
- (3) 「嘘つきだというのが嘘」
- (4) 「自分は存在しない、と考える」
- (5) 「我思う、我なし」

[No. 29] の文章の後にA～Fを並べ替えて一つのまとまった文章にする場合、最も妥当な順序はどれか。

現代の子どもはさまざまな面で割を食っていると思います。それは時間の問題からもわかります。それが、かけがえのない未来という話につながっていると私は思います。

- A 我々の日常生活、特に勤め人であれば、あしたも勤めに行かなければならない。あさっても行かなくてはならない。そういうことがきちんと決まっているということは、それはもう現在なのです。だから私は手帳に書かれているのが現在ですよ、とお話するのはです。
- B それは、じつは手帳に書いた予定のことだと私は思います。普通の人はずう思っていないで、手帳に書いた予定はこれから来るのだから未来のことだと思っています。しかし、本当にそれは未来だろうか――。私が三月一日にどこそこに行くという約束をしていると、たとえばその一月前に、友達がインドネシアのスマトラ島に虫採りに行こうよと誘ってくれても、三月一日の約束があるのでその楽しい誘いにのれません。
- C しかし、よくよく考えてみると、この現在が非常におかしいのです。なぜかといえば、こんなふうに決めると、現在は一瞬でしかないで、あつという間に過去になってしまうからです。すぐに過ぎ去ってしまうので、理屈としては「現在など存在しない」ということになります。ところが実感としては、誰だって「いま現在」と言えるし感じる事ができる。ではいったい、普通に現在とか今とか言っているのは何なのか。
- D こういうふうに見れば、「現在」というのは、当然起こるべき未来、すなわち予定された未来、決めてしまった未来のことなのです。都会ではなんでも予定化しようとする傾向があります。だから、現在がどんどん大きくなって未来を食っていく。逆に言えば未来がどんどん削られていく。そういう構図になっているのが都市化された社会なのです。
- E このように、一月後の約束があると、その日にいい話が来ても、それについていくわけにいかない。予定がすでに決まっているからです。こういうのは、はっきり言えばもうすでに現在なのです。
- F まず我々は時間というのを、「過ぎてしまった過去」と「まだ来ない未来」そして「ただいま現在」というふうに三つに分けています。そして、未来という一つの方向へ向かって時が進んでいくような、そんなイメージを持っているのではないかと思います。

- (1) F-C-B-E-A-D  
(2) D-C-B-E-F-A  
(3) C-B-E-F-D-A  
(4) F-D-B-E-A-C  
(5) B-E-C-F-D-A

[No.30] 次の文章の要旨として、最も妥当なものはどれか。

ファッションは普遍的な現象で、ファッションの存在しない社会はないと考えがちである。いつの時代にも、「人を動物から区別する象徴」(コンドルセ)たるファッションは、身体の保護という役割にとどまらず、装飾という機能も果たしてきたというのがその理由だ。確かに、中国やインドの高度な古代文明から近代のいわゆる未開文明に至るまで、多少なりともファッションの一形式と見なすことのできる、装飾への関心が見出せる。しかし、ファッションという概念、社会現象としてのファッションは、西洋社会の産物だ。現在、西洋の私たちが思いうかべるようなファッション、つまり一つの社会全体を巻き込む絶え間ない変化は、必ずしも服装について普遍的な性質とはいえないし、過去にそうであったことも一度もない。中国王朝の絹の衣装は西洋の宮廷のものと勝るとも劣らぬ華やかさであったろうし、中国の服装のバリエーションは宮廷文化の粋を集めた豊かなものだったに違いないが、やはり限られた時代、限られた社会空間の化石だ。他の文明においても同じことだ。さらにいえば、ファッションは西洋社会特有の概念かつ現象というだけでなく、西洋社会における目新しい現象なのである。

ファッションは、個人に最高の価値を認める社会の誕生と分かちがたく結びついている。それは、共同体としての全体に価値を置く伝統的な社会に時間をかけて代替していった、西洋独自の社会だ。中世以来、宮廷内で服装の流行が存在していたのは確かだが、しきたりや習慣を伴う社会現象として本当の意味でのファッションが生まれたと考えられるのは十九世紀に入ってからだ。一般に十八世紀に確立したとされる個人を基盤とした社会が、十分に成熟した頃である。ある集団や社会全体を巻き込む形のファッションは、伝統社会にまさに典型的な、宗教儀礼に含まれており、ファッションはこうした社会の装いや慣習や儀式の残滓だと考えるべきだという意見もあろう。だが、それを取り入れるか否かを選択する個人の自由がファッションの基礎にあり、それゆえに、ファッションは西洋の近代にとってより大きな意義を持ち、個人と世俗化とに結びついているのだ。

- (1) 西洋社会における目新しい現象といえるファッションも、伝統社会における装いや慣習や儀式の残滓だと考えるべきであり、かつての宮廷衣装の自由な組み合わせが基礎となっている。
- (2) ファッションは西洋社会特有の概念かつ現象というだけでなく、伝統社会に典型的な宗教儀礼の装いや慣習や儀式に含まれているなど、限られた時代、限られた社会空間の化石ともいえる。
- (3) 個人に最高の価値を認める社会の誕生と分かちがたく結びついているファッションは、装飾への関心が契機となり、中国王朝や西洋の宮廷など伝統的な社会において時間をかけて成立した。
- (4) 中国やインドの高度な古代文明から近代のいわゆる未開文明に至るまで、「人を動物から区別する象徴」たるファッションは、身体の保護という役割にとどまらず装飾という機能も果たしてきた。
- (5) ファッションは個人に最高の価値を認める西洋独自の社会の誕生と分かちがたく結びついており、単に西洋社会特有の概念かつ現象というだけでなく、西洋社会における目新しい現象といえる。



[No.3 1] 次の文章の内容と合致しているものとして、最も妥当なものはどれか。

かなり一般的な言葉になったエントロピーentropy というのがあるでしょ。このエントロピーは、やはり元々は自然科学の用語。十九世紀にフランスの技師であったカルノーが発見した熱力学の第二法則を、物理学者が定式化して使いはじめた言葉。この言葉が現代では情報理論や文化理論にも拡張されて、そこから「文明のエントロピー」というように使われるようになった。エントロピーというのは、うんとわかりやすく言うと、変化を起こすためにエネルギーを使うと、目的と同じ分だけ乱雑なヘドロみたいなものを出す。要するに、合理性や効率性に抵抗する要素を出す。だからエントロピーというのは抵抗する要素、マイナスの要素ね。異質の物質がごちゃ混ぜになって運動が起こるとエントロピーが増大して自然現象は不可逆的に無秩序へと進むということ。これは完全に自然科学の用語だったんだけど、いつの間にか経済学とか情報科学とか、そういう分野でも使われるようになった。

このように自然科学の言葉が人文科学に使われている例は、見渡すとまだまだある。さまざまな文化に属する土地の言葉が、どういうふうの意味論的に広がるかを調べるだけでも、結構、面白い比較文化ができる可能性がある。

最後に、エントロピーの反対の意味でネガ・エントロピーという用語があって、短くネゲントロピーとも言われます。ネゲントロピーはどういうことかということ、マイナスのエネルギーに対して、それと反対の効果を出させる。エントロピーというのは本来マイナスを生み出すものであった。ところが、それに対してまた反対の要素を付け加えることによって、プラスに転じる。エントロピーそのものは不可逆性、元に戻ってこないという法則があって、一度放出されたら元に戻ることができない。ネゲントロピーといたら、たとえばお汁粉を作る。お汁粉を作るときにうんと甘くするのに何度も砂糖を突っ込んだら、あるところから全然甘い感じがしなくなる。そういうとき、そこへ少し塩を入れたら、かえって甘いという感じが強くなる。そういうふうなひっくりかえりの実感に基づくものをネゲントロピーという。生物はこれをうまく作用させれば複雑なエネルギーを効果的に使うことができる。ネゲントロピーをうんと調節して使えば、マイナス部分をプラスに転じることができるでしょう。

そうした不思議な反転関係は文化の中に非常にたくさんあります。シェイクスピアの演劇に多く出てきますが、道化のような、ふざけてナンセンスなことばかりやるキャラクターを投入すると、かえって芝居全体が迫力のあるものになる。道化的なものはネゲントロピーの役割を果たすと言えます。映画でも文学でも悪い立場にある悪漢役は決してマイナスの役割ばかりを果たしているのではなくて、マイナスを魅力的に演ずることによって、全体としては人々の憧れを誘い出すプラスの効果をもたらす。こういう分析の視点は、記号学<sup>セミオティクス</sup>semiotics という分野からは結構出てくるのですが、日本ではまだなかなか馴染んでいない考え方です。

- (1) エントロピーは、自然現象が不可逆的に無秩序へと進む際に増大する要素であるが、ネゲントロピーの作用を利用すれば、可逆的に変化させることも可能である。
- (2) ネゲントロピーを調節して使えばマイナス部分をプラスに転じることができるという分析の視点を、芝居だけではなく文学や自然科学の分野にもおおいに活用するべきである。
- (3) 映画でも文学でも、ナンセンスなことばかりやる道化的なものは、ネゲントロピーの役割を果たし、悪い立場にある悪漢役のマイナスの役割をプラスに変える効果をもたらす。
- (4) 現代では、エントロピーのように自然科学の言葉が人文科学に使われている例は多く、エントロピーとネゲントロピーの関係のように不思議な反転関係も文化の中に多くある。
- (5) エントロピーは抵抗する要素、マイナスの要素を表わす言葉であったが、情報理論や文化理論にも拡張されることにより、「文明のエントロピー」というように意味がプラスに転じた。

[No.32] 次の文章の要旨として、最も妥当なものはどれか。

この二十年ほどで、子どもの遊びの世界、特に男の子の遊びは激変した。外遊びが、極端に減ったのである。一日のうちで息を切らしたり、汗をかいたりすることが全くない過ごし方をする子どもが圧倒的に増えた。子ども同士が集まって野球をしたりすることも少なくなり、遊びの中心は室内でのテレビゲームに完全に移行した。身体文化という視座から見たときに、男の子のこの遊びの変化は、看過できない重大な意味を持っている。

相撲やチャンバラ遊びや鬼ごっこといったものは、室町時代や江戸時代から連綿として続いてきた遊びである。明治維新や敗戦、昭和の高度経済成長といった生活様式の激変にもかかわらず、子どもの世界では、数百年以上続いてきた伝統的な遊びが日常の遊びとして維持されてきたのである。

しかし、それが一九八〇年代のテレビゲームの普及により、絶滅状態にまで追い込まれている。これは単なる流行の問題ではない。意識的に臨まなければ取り返すことの難しい身体文化の喪失である。かつての遊びは、身体を中心感覚を鍛え、他者とのコミュニケーション力を鍛える機能を果たしていた。これらはひっくるめて自己形成のプロセスである。

コミュニケーションの基本は、身体と身体の触れ合いである。そこから他者に対する信頼感や距離感といったものを学んでいく。たとえば、相撲を何度も何度も取れば、他人の体と自分の体の触れ合う感覚が蓄積されていく。他者と肌を触れ合わせることに苦にならなくなるということは、他者への基本的信頼が増したということである。これが大人になってからの通常のコミュニケーション力の基礎、土台となる。自己と他者に対する信頼感を、かつての遊びは育てる機能を担っていたのである。

この身体を使った遊びの衰退に関しては、伝統工芸の保存といったものとは区別して考えられる必要がある。身体全体を使ったかつての遊びは、日常の大半を占めていた活動であり、なおかつ自己形成に大きく関わっていた問題だからである。歌舞伎や伝統工芸といったものは、もちろん保存継承がされるべきものである。しかし現在、より重要なのは、自己形成に関わっていた日常的な身体文化そのものの価値である。

数百年以上にわたって継承されてきた日常における身体文化が、数十年のうちに急激に喪失されたことの意味は深刻である。二十一世紀を迎えた現在において、身体文化に対して明確な意識を持って臨む必要がある。そのことが、現在問題になっている様々な社会問題に対する対処法の根幹をなすと考える。

- (1) 数百年以上続いてきた伝統的な遊びが、テレビゲームの普及により絶滅状態にまで追い込まれていることは、日本の伝統工芸の保存といった観点からも非常に憂慮されている。
- (2) 遊びの激変は特に男の子に顕著に見られ、他人と自分の体の触れ合うことが苦になる、身体全体を使った遊びができないなど、看過できない状態をもたらした。
- (3) 子どもの遊びの激変は自己形成のプロセスである身体文化の喪失をもたらしたが、その身体文化をいかに取り戻すかが、現代の様々な社会問題に対する対処法の根幹をなす。
- (4) 高度経済成長がもたらした身体文化の喪失は、他者への基本的信頼を希薄化させることにより、日本文化の保存の危機だけではなく、現代の社会問題を生み出す契機となった。
- (5) 遊びは自己と他者に対する信頼感を育てる機能を担っているため、子どもは遊びを通して、大人になってからの通常のコミュニケーション力を自然と身に付けることができる。

[No.3 3] 次の文章の要旨として、最も妥当なものはどれか。

日本は温暖な気候であることと、島国であることから水が豊富で良質の樹木に恵まれたことにより、古来から加工が容易でかつ柔軟な強度をもつ木造による、柱と梁の構造の建物が造られてきた。法隆寺五重塔が世界最古の木造建築となったのも、日本が世界に誇る良質の木材・ヒノキを材料としたことにあるだろう。

それに対して、欧米諸国は良質の樹木を大量に得るのが難しく、土を固めて焼いたレンガや、石造による組積造がおのずと発達したとみられる。

このような建築資材の相違は、その居住空間にも強く影響し、たとえば柱と梁による日本の住宅は開口部を容易にとることができた。それが幸いし、外部と内部が必然的に関係をもった。そこでそれぞれを媒介する仕掛け、すなわち京都の町家などにみられる格子戸のような壁とも窓枠ともつかない曖昧な間仕切りや、縁側のような外とも内ともつかない中間領域などが生み出された。これによって日本人の住居は、外部の自然に開かれるようになったのである。

一方、欧米諸国は組積造を中心とした壁＝構造体であったため、大開口をとることが難しく、おのずと内部と外部の関係が希薄となった。そのことが、欧米で「インテリア」という概念が早くから生み出される要因となったとみられる。

外部に開かれた日本の住居は、こうして自然美を十分に享受できるようになった。そして、開口部から四季のいろどりをいつでも眺めることができたために、自然と室内は簡素なものとなった。開口部からは新緑や花の香りが風とともに流れ込み、木々のそよぐ音、鳥の鳴き声に癒された。朝日、夕陽を楽しみ、夜は月見に興じた。

日本人が自然の中に美を見いだし得た要因の一つには、この開放的な日本の住居のしくみがあったとあってよいだろう。

日本の住居の特徴の一つである障子は、白い和紙を格子戸に貼っただけのものであり、かつては紙の障子一枚で自然に接していた。この障子は、ほのかな自然のいろどりを室内に反映させた。これは、開口部をとざしつつも、自然と一体となるための工夫である。

木目を生かした白木の柱や、皮つきの自然木そのものの床柱、土壁など、日本家屋の作りは、いかに自然と一体となるかをめざしたものとあってよい。欧米では床と離れた椅子に座り、ベッドに寝るが、日本では畳に座し、畳に寝る。こうした態度も、いかに地面に近づくかという自然と一体となろうとする工夫といっても過言ではない。

もともと外部に開かれ、自然美を享受するのに適した日本の住居に、日本人はさらなる自然美と一体となる工夫を施してきたことがわかる。ここに「優美」というものが、日本人の生活と一体となったものであることを思い知るのである。

- (1) 日本人の住居が外部の自然に開かれるようになり、対して欧米で「インテリア」という概念が早くから生み出されたのは、日本と欧米の文化が異なるためといえる。
- (2) 日本の住宅は、良質の樹木を得て開口部を容易にとることができたことで外部と内部が必然的に関係をもち、そこにさらに自然美と一体となる工夫を施してきた。
- (3) 法隆寺五重塔が世界最古の木造建築となったのは、日本は温暖な気候であることと、島国であることから水が豊富で良質の樹木に恵まれたことが原因といえる。
- (4) 欧米諸国の住居は、四季のいろどりをいつでも眺めるなど自然美を享受するために室内を簡素化するよりも、自然を隔絶し、室内を装飾することに工夫を凝らしている。
- (5) 日本の住居の特徴の一つである障子は、ほのかな自然のいろどりを室内に反映させており、これは開口部をとざしつつも自然と一体となるための工夫といえる。

[No.3 4] 次の文章の要旨として、最も妥当なものはどれか。

帝国ホテルなどを設計したことで日本でも広く知られている建築の巨匠、フランク・ロイド・ライトは、『茶の本』の中の「建物の現実には四方の壁と屋根からなるのではなく、その中に住む空間からなるのである」(大意)との言葉に出会って何度も何度も繰り返し読み、そして考え、その背後にある老子の「虚」の概念をようやく理解できたといい、やがて伝統的な西洋建築の域を越えて、自然と建物、内と外が融合するという彼独特の建築様式を作り上げた、といわれる。

ひるがえって現在の日本の状況に目を移すと、若者たちの「日本文化離れ」が指摘されて久しい。さらには茶の湯を学ぶ人々が減少しつつある状況が続いている。その原因として、日本人の生活様式の変化や、少子化、伝統を受け継ぐべき人たちに正しく伝統が受け継がれていないなどが挙げられてはいるものの、かならずしも有効な対策がなされているとはいえないのが現状であろう。

ただし私自身は、現在の若者たちが日本文化や茶の湯に興味を失ってしまったとは思っていない。むしろ潜在的に多くの若者たちがそれらに関心を示してはいても、日本の社会の仕組みがその気持ちと意欲を掬い上げることができないところに大きな問題の一つがあると考えている。

では、なぜそうした若者たちの気持ちを掬い上げることができないのか。それはよく言われるように若者たちが大人たちにとって異星人になってしまったからではなく、むしろ既存の社会が、若者たちの真摯な問いかけに答えきれないところにも一因があるのではないかと思う。

世の大人たちが若者たちに対して違和感を抱くのは、別に現代の日本に限って見られる現象ではなく、大袈裟に言えば人類の歴史が始まって以来、洋の東西・地球の南北を問わず見られていたことであり、大人たちはいつもとまどいを禁じえなかったのである。その時々々の大人たちは、あるいは説得し、あるいは若者たちに委ねながら、いつの時代になっても世代間の対立や行き違いが続いてきたのが人類の歴史の一面であるといってもよいだろう。

- (1) 若者たちの「日本文化離れ」がいわれているが、実際は彼らが潜在的な関心を示しても既存の社会の仕組みが彼らの真摯な問いかけに答えきれず、その気持ちと意欲を掬い上げることができないところに大きな問題があるといえる。
- (2) フランク・ロイド・ライトのように異国の人間でさえ、『茶の本』の中の言葉の背後にある老子の「虚」の概念を理解することができたのに、現在の若者たちは社会が自らの意欲を汲んでくれないことを理由に、日本文化に関心を示そうとしない。
- (3) 世の大人たちが若者たちに対して違和感を抱くのは、別に現代の日本に限って見られる現象ではないが、それは単に社会が世代間の対立や行き違いを容認してきたからであり、それが人類の歴史上連続と続いている。
- (4) 茶の湯を学ぶ人々が減少しつつあることについて、日本人の生活様式の変化や、少子化、伝統を受け継ぐべき人たちに正しく伝統が受け継がれていないなどの理由が挙げられてはいるが、若者たちへ関心をもつようながすなど有効な対策がなされている。
- (5) 人類の歴史が始まって以来、洋の東西・地球の南北を問わず世代間の対立や行き違いが続いてきたが、現代の日本における「文化離れ」に関しては、若者たちだけでなく大人たちですら問いに答えることができない社会全体に問題がある。

[No.3 5] A、B、C、Dの4人は、剣道部か柔道部のどちらか一つに所属しているが、どちらの部に所属しているかについて、それぞれ次のように発言した。それぞれの発言の、前半または後半のいずれかが本当で、残りの半分が嘘であるとき、剣道部員全員の組み合わせとして正しいものはどれか。

- A 「私は剣道部員だ。Cは剣道部員だ。」
- B 「私は剣道部員だ。Dは柔道部員だ。」
- C 「Aは剣道部員だ。Dは剣道部員だ。」
- D 「私は剣道部員だ。この中で剣道部員は2人だ。」

- (1) A
- (2) BとD
- (3) CとD
- (4) AとBとC
- (5) BとCとD

[No.3 6] 水族館、映画館、博物館、美術館の4つの施設における男女別の来館者数について、次のア～エのことがわかっているとき、各施設における男性の来館者数について、確実にいえるものはどれか。

- ア 男性の来館者数が最も多いのは、博物館、美術館のいずれかである。
- イ 映画館の男性の来館者数は、水族館の男性の来館者数より多い。
- ウ 女性の来館者数が最も少ない施設は、男性の来館者数も最も少ない。
- エ 女性の来館者数が最も少ないのは、映画館、博物館、美術館のいずれかである。

- (1) 男性の来館者数が最も多いのは、美術館である。
- (2) 男性の来館者数が最も少ないのは、水族館である。
- (3) 男性の来館者数が2番目に多いのは、映画館である。
- (4) 男性の来館者数が最も少ないのは、博物館である。
- (5) 男性の来館者数が3番目に多いのは、美術館である。

[No.3 7] 学生 89 人に、天気予報を見る媒体に関するアンケートをとったところ、次のア～ウのことがわかった。このとき、携帯電話とテレビ、新聞の3つすべてを利用している学生の人数として、正しいものはどれか。

ア 携帯電話とテレビの両方を利用している学生は 15 人、テレビと新聞の両方を利用している学生は 13 人、携帯電話と新聞の両方を利用している学生は 17 人である。

イ 携帯電話とテレビのうち少なくとも一方を利用している学生は 73 人、テレビと新聞のうち少なくとも一方を利用している学生は 69 人、携帯電話と新聞のうち少なくとも一方を利用している学生は 71 人である。

ウ 全員が携帯電話、テレビ、新聞のうち少なくとも一つを利用している。

- (1) 5人
- (2) 6人
- (3) 7人
- (4) 8人
- (5) 9人

[No.3 8] 1～10までの数字が一つずつ重複することなく書かれたカード10枚が、数字が書かれている面を下に1列に置かれていた。A、B、C、D、Eの5人が同時にそれぞれ1枚ずつカードを手にとって数字を確認したところ、次のア～オのことがわかった。このとき、5人が持っているカードの数字の合計の値として、正しいものはどれか。

ア Bのカードの数字は、Aのカードより3大きい。

イ Cのカードの数字は、Bのカードより3大きい。

ウ CのカードとDのカードの数字の和は16である。

エ Dのカードの数字は、Cのカードより2大きい。

オ CのカードとEのカードの数字の差は3である。

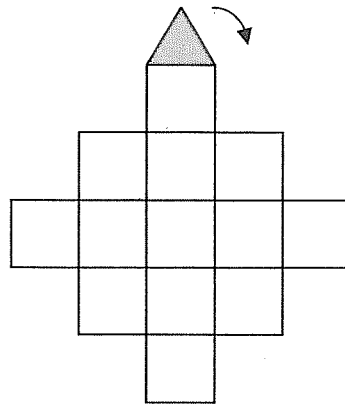
- (1) 30
- (2) 31
- (3) 32
- (4) 33
- (5) 34

[No.3 9] 2011年1月1日が土曜日であるとき、1964年の10月10日の曜日として、正しいものはどれか。

- (1) 日曜日
- (2) 月曜日
- (3) 火曜日
- (4) 金曜日
- (5) 土曜日

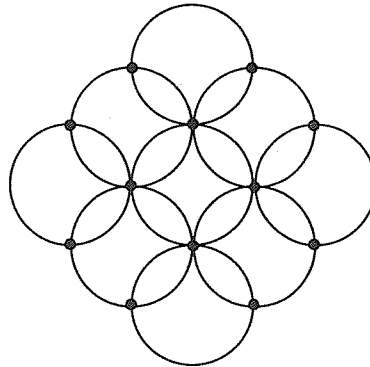
[No.4 0] 一辺の長さが1 cmの正方形を、次の図のように13個組み合わせた多角形のまわりを、一辺の長さが1 cmの正三角形が図の位置から矢印の向きに滑ることなく転がるとき、正三角形が一周してもとの位置に戻るまでに正三角形自身が回転する回数として、正しいものはどれか。

- (1)  $6\frac{2}{3}$ 回転
- (2) 7 回転
- (3)  $7\frac{1}{3}$ 回転
- (4)  $7\frac{2}{3}$ 回転
- (5) 8 回転



[No.4 1] 次の図のように同じ大きさの9つの円を並べると12個の交点ができる。この12個の交点のうち任意の4つの点を頂点としてできる正方形の個数として、正しいものはどれか。

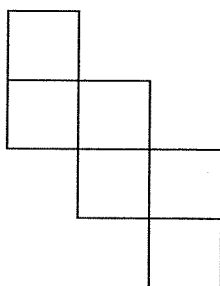
- (1) 5個
- (2) 7個
- (3) 9個
- (4) 11個
- (5) 13個



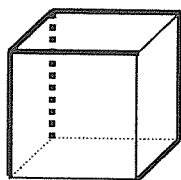
[No.4 2] 正八面体、正十二面体、正二十面体をひとつの面を下にして水平な床の上に置く。これらを真上から見たときの、それぞれの立体の輪郭線の形状の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- |     | 正八面体 | 正十二面体 | 正二十面体 |
|-----|------|-------|-------|
| (1) | 正三角形 | 正五角形  | 正六角形  |
| (2) | 正三角形 | 正六角形  | 正八角形  |
| (3) | 正六角形 | 正十角形  | 正六角形  |
| (4) | 正六角形 | 正五角形  | 正八角形  |
| (5) | 正八角形 | 正十角形  | 正十角形  |

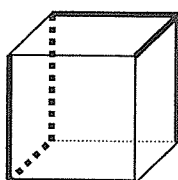
[No.4 3] 次の図のように立方体を切り開くとき、切断する辺を太い実線と点線で表したものとして、正しいものはどれか。



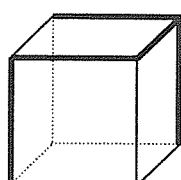
(1)



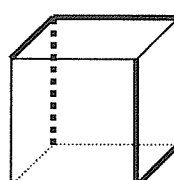
(2)



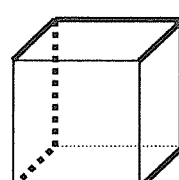
(3)



(4)



(5)



[No.4 4] A、Bの2個の箱があり、Aの箱の中には赤球6個と白球4個、Bの箱の中には赤球3個と白球6個がそれぞれ入っている。1個のサイコロを投げて3の倍数の目が出たときにAの箱から球を1個、それ以外の目が出たときはBの箱から球を1個取り出す。いま、取り出した球が赤球であるとき、Aの箱から取り出した球である確率として、正しいものはどれか。

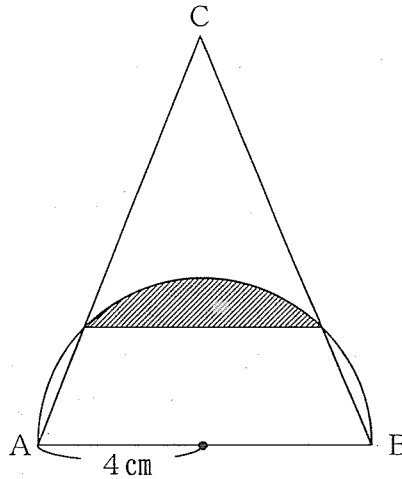
ただし、箱の中は見えず、球の大きさは同じものとする。

- (1)  $\frac{1}{3}$   
 (2)  $\frac{1}{5}$   
 (3)  $\frac{2}{9}$   
 (4)  $\frac{9}{19}$   
 (5)  $\frac{19}{45}$



[No. 4 5] 次の図の三角形ABCは、半径4 cmの半円の直径ABを一辺とする二等辺三角形で、 $CA=CB$ 、 $\angle C=45^\circ$ である。このとき、斜線部分の面積として、正しいものはどれか。ただし、円周率は $\pi$ とする。

- (1)  $4\pi - 8$  (cm<sup>2</sup>)
- (2)  $4\pi$  (cm<sup>2</sup>)
- (3)  $8\pi - 4$  (cm<sup>2</sup>)
- (4)  $8\pi$  (cm<sup>2</sup>)
- (5)  $16\pi - 8$  (cm<sup>2</sup>)



[No. 4 6] Aが4歩で進む距離をBは5歩で進み、Aが6歩進む時間にBは5歩進む。いま、甲地点から乙地点へ向けてAとBが同時に出発し、ふたりとも一定の速さで、甲、乙間の直線上を歩くものとする。Bが甲地点から400mの距離に達したときにAがいる位置として、正しいものはどれか。

ただし、甲、乙間は1,000m以上離れているものとする。

- (1) Bの後方200mの地点
- (2) Bの後方100mの地点
- (3) Bの前方100mの地点
- (4) Bの前方200mの地点
- (5) Bの前方300mの地点

[No. 4 7] 次の式の空所(A)、(B)に当てはまる加減乗除の記号の組み合わせとして、正しいものはどれか。

$$\frac{13}{4} \quad (A) \quad \frac{13}{9} = \frac{13}{4} \quad (B) \quad \frac{13}{9}$$

- |     | (A) | (B) |
|-----|-----|-----|
| (1) | -   | ÷   |
| (2) | -   | ×   |
| (3) | -   | +   |
| (4) | +   | ÷   |
| (5) | +   | ×   |

[No.48] 8208 の約数の個数と、5808 の約数の個数の差として、正しいものはどれか。

- (1) 2個
- (2) 4個
- (3) 6個
- (4) 8個
- (5) 10個

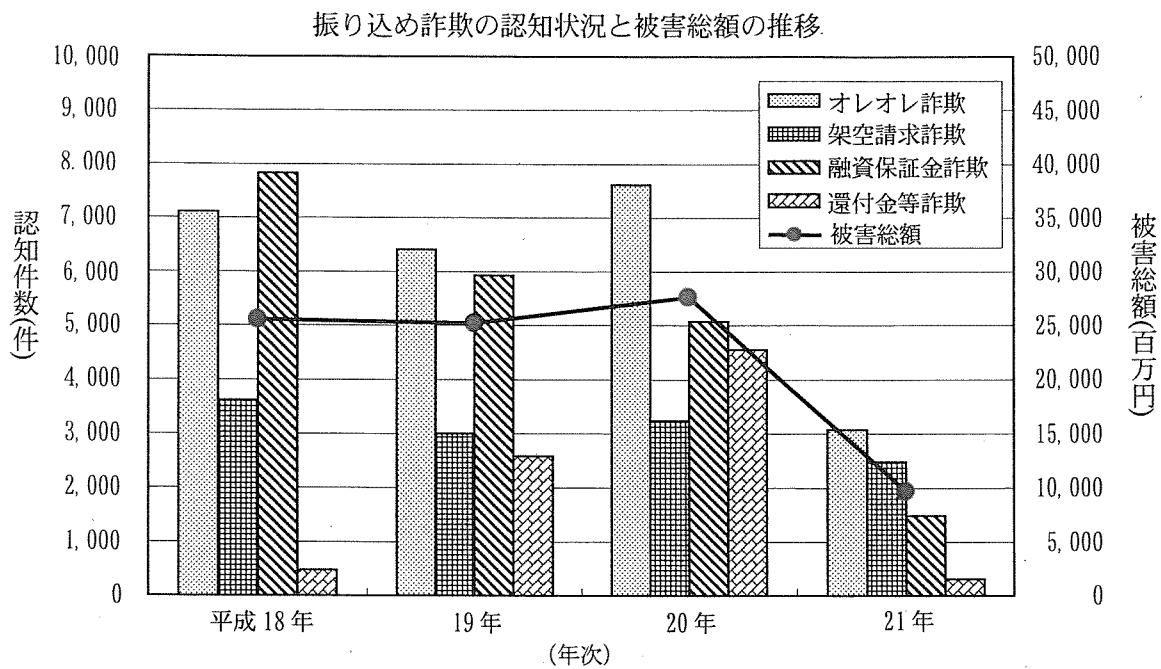
[No.49] 次の表は、ある地域での騒音苦情の受理件数を発生場所と騒音区分構成比でまとめたものであるが、この表から正しくいえるものはどれか。

騒音苦情の発生場所別受理件数と騒音区分構成比

発生場所	受理件数 (件)	騒音区分別構成比 (%)						
		建設 作業音	楽器・ 音響機 器等音	人声音	作業音	遊技音	車両音	その他
飲食店・劇場・遊技場等	5,966	0.3	51.0	37.2	0.4	4.5	1.0	5.6
道路・広場等	43,500	1.9	5.6	47.1	2.6	11.6	15.1	16.1
会社・商店・事務所等	2,153	1.4	8.4	33.1	8.1	3.3	29.1	16.6
一般家庭・マンション等	14,542	1.9	13.2	56.3	3.5	2.4	2.0	20.7
工場・事業所・作業場等	3,102	31.8	1.6	9.4	29.6	1.0	5.8	20.8
その他	5,987	0.9	34.9	34.5	1.2	1.9	2.7	23.9

- (1) 騒音苦情の発生場所として最も多いのは道路・広場等で、全受理件数の3分の2を超えている。
- (2) 建設作業音と作業音の受理件数を比べると、建設作業音の方が多い。
- (3) 楽器・音響機器等音が最も多い発生場所は、飲食店・劇場・遊技場等である。
- (4) 遊技音の発生場所をみると、道路・広場等が最も多く、遊技音の受理件数は、全受理件数の10%を超えている。
- (5) 騒音区分で最も多いのは人声音であり、全受理件数の50%を超えている。

[No.50] 次の図は、ある地域における振り込め詐欺の認知状況と被害総額の推移を示したものであるが、この図から正しくいえるものはどれか。



- (1) 図中の4年間で、振り込め詐欺の認知件数が最も多い年は平成18年である。
- (2) 図中の4年間の種類別合計をみると、融資保証金詐欺の認知件数が最も多い。
- (3) 平成19年の架空請求詐欺の認知件数は、この年の振り込め詐欺認知件数の20%を超えている。
- (4) 平成21年の振り込め詐欺の認知件数は、平成20年の30%以下に減少している。
- (5) 図中の4年間全ての年で、認知件数1件あたりの平均被害額は100万円を超えている。

【出典一覧】

- [No.26] Ken Auletta 「THREE BLIND MICE」
- [No.27] Lawrence Lessig 「REMIX」
- [No.28] 長沼 毅 「宇宙がよろこぶ生命論」
- [No.29] 養老 孟司 「かけがえのないもの」
- [No.30] フレデリック・モネイロン 北浦春香訳 「ファッションの社会学」
- [No.31] 山口 昌男 「学問の春」
- [No.32] 土居健郎 齋藤孝 「『甘え』と日本人」
- [No.33] 宮元 健次 「日本の美意識」
- [No.34] 谷 晃 「茶人たちの日本文化史」

# 平成22年度 警視庁男性警察官第3回(I・III類)採用試験

## 第1次試験 教養試験(五枝択一式)

### 正 答

試験実施日 平成23年1月16日(日)

試験区分 男性警察官(I・III類)

正答の掲載期間 1月19日(水)から1月25日(火)まで

※この正答は、警視庁情報公開センター及び都庁都民情報ルームでも閲覧することができます。

#### I類 教養試験 正答 五枝択一式・50題解答・2時間

1 は問題番号、(1)は正答の番号を表す。

1 (5)	2 (4)	3 (1)	4 (5)	5 (2)	6 (1)	7 (2)	8 (5)	9 (4)	10 (2)
11 (1)	12 (2)	13 (1)	14 (3)	15 (4)	16 (3)	17 (1)	18 (2)	19 (3)	20 (2)
21 (3)	22 (1)	23 (2)	24 (1)	25 (4)	26 (4)	27 (3)	28 (2)	29 (1)	30 (5)
31 (4)	32 (3)	33 (2)	34 (1)	35 (5)	36 (3)	37 (1)	38 (2)	39 (5)	40 (4)
41 (4)	42 (3)	43 (2)	44 (4)	45 (1)	46 (4)	47 (5)	48 (5)	49 (3)	50 (5)